



2020年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月12日
上場取引所 東

上場会社名 星光PMC株式会社
 コード番号 4963 URL <https://www.seikopmc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 滝沢 智
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 井内 秀樹 TEL 03-6202-7331
 定時株主総会開催予定日 2021年3月26日 配当支払開始予定日 2021年3月29日
 有価証券報告書提出予定日 2021年3月29日
 決算補足説明資料作成の有無： 有
 決算説明会開催の有無： 有 証券アナリスト、機関投資家向け

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期の連結業績（2020年1月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期	26,046	△6.9	2,612	△6.4	2,667	△6.1	1,685	△14.1
2019年12月期	27,970	8.0	2,790	41.7	2,839	36.5	1,961	25.6

(注) 包括利益 2020年12月期 1,816百万円 (△21.8%) 2019年12月期 2,323百万円 (127.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年12月期	55.59	—	6.4	7.3	10.0
2019年12月期	64.69	—	7.9	8.3	10.0

(参考) 持分法投資損益 2020年12月期 一百万円 2019年12月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期	37,069	28,451	72.4	885.19
2019年12月期	36,225	27,136	71.2	850.11

(参考) 自己資本 2020年12月期 26,840百万円 2019年12月期 25,776百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年12月期	4,020	△2,110	△580	2,985
2019年12月期	3,278	△2,311	△711	1,663

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年12月期	—	8.00	—	8.00	16.00	485	24.7	1.9
2020年12月期	—	8.00	—	8.00	16.00	485	28.8	1.8
2021年12月期 (予想)	—	8.00	—	8.00	16.00		27.1	

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,640	10.0	2,800	7.2	2,860	7.2	1,790	6.2	59.03

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期	30,743,604株	2019年12月期	30,743,604株
② 期末自己株式数	2020年12月期	422,275株	2019年12月期	422,243株
③ 期中平均株式数	2020年12月期	30,321,342株	2019年12月期	30,321,361株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年12月期の個別業績（2020年1月1日～2020年12月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期	17,648	△11.0	680	△46.1	841	△43.4	608	△43.9
2019年12月期	19,827	△1.2	1,262	8.0	1,487	9.1	1,085	9.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期	20.08	—
2019年12月期	35.80	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期	29,215	23,103	79.1	761.95
2019年12月期	29,878	23,044	77.1	760.00

(参考) 自己資本 2020年12月期 23,103百万円 2019年12月期 23,044百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況

(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(追加情報)	13
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

(当期の業績全般の概況)

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、期後半にかけてやや回復の兆しもみられたものの、企業活動や個人消費が大きく落ち込むなど、景気は急激に悪化致しました。新型コロナウイルス感染症の収束が依然として見通せない状況下で、世界経済に対する悪影響の長期化が懸念されるなど、極めて先行きが不透明な状況が継続しております。

当社グループの主要販売先におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により製紙業界・印刷インキ業界の需要がともに大きく減少するなど、非常に厳しい経営環境となりました。

当社グループは、高品質化・生産性の向上や環境保護・省資源等、販売先業界の経営戦略に対応した差別化商品を市場に投入し売上増加に努めましたが、当連結会計年度の売上高は26,046百万円（前連結会計年度比6.9%減）となりました。

利益面では、売上高の減少などにより、営業利益は2,612百万円（前連結会計年度比6.4%減）、経常利益は2,667百万円（同6.1%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,685百万円（同14.1%減）となりました。

(事業のセグメント別の業績)

・製紙用薬品事業

製紙業界におきましては、2020年1月から12月までの紙・板紙の国内生産は2,288万トンと前年同期比9.9%の減少となりました。当社グループは、国内市場・中国市場における差別化商品の売上増加に努めましたが、日本国内・中国ともに売上が減少した結果、当事業の売上高は、15,001百万円（前連結会計年度比11.8%減）となりました。

利益面では、売上高の減少の影響が大きく、セグメント利益は1,453百万円（前連結会計年度比19.3%減）となりました。

・樹脂事業

印刷インキ業界におきましては、2020年1月から12月までの印刷インキの国内生産は27万9千トンと前年同期比12.1%の大幅な減少となりました。当社グループにおいては、粘着剤の売上高は増加いたしましたが、印刷インキ用樹脂・記録材料用樹脂などの売上高が減少した結果、当事業の売上高は、6,844百万円（前連結会計年度比3.0%減）となりました。

利益面では、売上高の減少に対して売上原価の低減を図りましたが、セグメント利益は800百万円（前連結会計年度比0.5%減）となりました。

・化成品事業

化成品事業の売上高は、主力製品の輸出売上の増加などにより、4,199百万円（前連結会計年度比7.6%増）となりました。

利益面では、売上高が増加したことなどにより、セグメント利益は716百万円（前連結会計年度比31.8%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産、負債及び純資産の状況)

当連結会計年度末における当社グループの財政状態は以下の通りとなりました。

(流動資産)

受取手形及び売掛金の減少、短期貸付金の減少、及び現金及び預金の増加などにより、流動資産は21,182百万円（前連結会計年度末比655百万円減）となりました。

(固定資産)

有形固定資産の増加、投資有価証券の減少などにより、固定資産は15,887百万円（前連結会計年度末比1,499百万円増）となりました。

(流動負債)

支払手形及び買掛金の減少、その他の流動負債の減少などにより、流動負債は7,831百万円（前連結会計年度末比339百万円減）となりました。

(固定負債)

退職給付に係る負債が資産に転じたこと、長期借入金の減少などにより、固定負債は786百万円（前連結会計年度末比132百万円減）となりました。

(純資産)

親会社株主に帰属する当期純利益の計上、及び剰余金の配当などにより、純資産は28,451百万円（前連結会計年度末比1,315百万円増）となりました。その結果、当連結会計年度末における自己資本比率は72.4%となりました。また、有利子負債残高1,427百万円を自己資本で除した倍率（D/Eレシオ）は0.05倍となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(キャッシュ・フローの状況)

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、2,985百万円となり、前連結会計年度末と比べ1,322百万円増加いたしました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、4,020百万円の資金の獲得（前連結累計期間は3,278百万円の資金の獲得）となりました。これは主として、税金等調整前当期純利益2,631百万円、売上債権の減少額1,442百万円、減価償却費1,188百万円、及び法人税等の支払額598百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,110百万円の資金の支出（前連結累計期間は2,311百万円の資金の支出）となりました。これは有形固定資産の取得による支出2,683百万円、及び短期貸付金の純減少額608百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、580百万円の資金の支出（前連結累計期間は711百万円の資金の支出）となりました。これは主として、配当金の支払額500百万円、及び長期借入金の返済による支出74百万円などによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年12月期	2018年12月期	2019年12月期	2020年12月期
自己資本比率 (%)	73.3	75.0	71.2	72.4
時価ベースの自己資本比率 (%)	107.0	69.6	84.1	59.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	0.5	0.5	0.5	0.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	566.0	523.5	239.6	329.1

(注) 自己資本比率：自己資本÷総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額÷総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債÷営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー÷利払い

*各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

*株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

*営業キャッシュ・フロー及び利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フロー及び利息の支払額を使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に記載されている負債のうち、利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

当社グループを取り巻く経営環境は、依然として新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中で、国内経済・世界経済とも引き続き厳しい状況で推移するものと予想されますが、来期の第2四半期以降には景気に持ち直しの動きがみられるものと見込んでおります。

このような環境の中、当社グループは、顧客に評価される差別化製品・サービスの提供及び研究開発・生産・営業が一体となった業務の効率化・合理化に取り組み、業績の向上に努めてまいります。

製紙用薬品事業では、国内における紙・板紙の需要環境の厳しさが続く中、差別化されたソリューションの提供による顧客との関係強化や、高機能製品による新規商権獲得により、販売の拡大に努めます。また、海外においては、製品ポートフォリオの拡充等によって製造設備の稼働率の向上を図るとともに、中国・東南アジアにおいて拡販を進めてまいります。

樹脂事業では、印刷インキ用・記録材料用樹脂事業において市場の変化に対応した製品ポートフォリオの抜本的な見直しと生産体制の効率化、海外における印刷インキの環境対応・水性化のニーズに応える樹脂の開発・販売などにより収益基盤の再構築を図るとともに、既存事業と新綜工業股份有限公司の粘着剤事業とのグループ内シナジーの創出を進めてまいります。

化成品事業では、競争優位の機能性創造モノマー・オリゴマーの提供により、事業基盤を強化いたします。

通期の業績見通しにつきましては、売上高は前期と比較して10.0%増の28,640百万円、営業利益は同7.2%増の2,800百万円、経常利益は同7.2%増の2,860百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は同6.2%増の1,790百万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当連結会計年度 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,663,648	2,985,835
受取手形及び売掛金	10,916,857	9,597,896
電子記録債権	1,409,707	1,303,198
商品及び製品	2,437,503	2,343,287
仕掛品	356,563	353,204
原材料及び貯蔵品	1,077,577	1,160,984
短期貸付金	3,697,933	3,089,018
その他	289,859	364,167
貸倒引当金	△11,680	△15,345
流動資産合計	21,837,972	21,182,247
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,104,300	11,886,397
減価償却累計額	△8,377,587	△8,570,694
建物及び構築物 (純額)	2,726,712	3,315,702
機械装置及び運搬具	21,218,583	21,774,151
減価償却累計額	△18,777,338	△19,275,153
機械装置及び運搬具 (純額)	2,441,244	2,498,998
土地	6,660,889	6,684,998
建設仮勘定	712,462	1,547,412
その他	2,330,668	2,399,501
減価償却累計額	△2,062,823	△2,129,744
その他 (純額)	267,845	269,757
有形固定資産合計	12,809,154	14,316,869
無形固定資産		
投資その他の資産	72,090	60,212
投資有価証券	964,335	887,552
退職給付に係る資産	—	13,326
繰延税金資産	97,499	89,141
その他	495,409	551,262
貸倒引当金	△51,002	△30,977
投資その他の資産合計	1,506,241	1,510,304
固定資産合計	14,387,486	15,887,386
資産合計	36,225,458	37,069,633

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当連結会計年度 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,179,503	3,965,748
短期借入金	730,000	730,000
1年内返済予定の長期借入金	74,498	73,238
未払法人税等	388,018	347,299
未払役員賞与	61,900	78,800
賞与引当金	665,564	655,247
その他	2,071,206	1,981,331
流動負債合計	8,170,691	7,831,664
固定負債		
長期借入金	689,375	623,885
役員退職慰労引当金	7,800	7,800
退職給付に係る負債	118,894	—
資産除去債務	88,940	86,708
繰延税金負債	—	53,990
その他	13,358	13,736
固定負債合計	918,368	786,121
負債合計	9,089,060	8,617,785
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000,000	2,000,000
資本剰余金	1,576,265	1,576,265
利益剰余金	22,476,443	23,676,819
自己株式	△105,272	△105,298
株主資本合計	25,947,436	27,147,786
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	325,609	261,345
繰延ヘッジ損益	51	△178
為替換算調整勘定	68,640	50,305
退職給付に係る調整累計額	△565,255	△619,036
その他の包括利益累計額合計	△170,953	△307,565
非支配株主持分	1,359,916	1,611,626
純資産合計	27,136,398	28,451,848
負債純資産合計	36,225,458	37,069,633

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
売上高	27,970,050	26,046,096
売上原価	20,251,931	18,540,121
売上総利益	7,718,118	7,505,974
販売費及び一般管理費	4,927,935	4,893,522
営業利益	2,790,182	2,612,452
営業外収益		
受取利息	16,927	28,541
受取配当金	21,960	24,036
仕入割引	13,388	11,579
補助金収入	20,198	—
その他	51,918	69,708
営業外収益合計	124,392	133,865
営業外費用		
支払利息	13,687	12,230
売上割引	4,604	4,642
為替差損	50,688	50,747
その他	5,842	11,009
営業外費用合計	74,822	78,630
経常利益	2,839,752	2,667,686
特別利益		
固定資産売却益	141	—
投資有価証券売却益	1,005	—
負ののれん発生益	85,367	—
特別利益合計	86,514	—
特別損失		
固定資産売却損	—	382
固定資産除却損	35,477	17,257
減損損失	—	10,326
投資有価証券評価損	—	7,866
段階取得に係る差損	59,043	—
その他	4,000	—
特別損失合計	98,520	35,832
税金等調整前当期純利益	2,827,746	2,631,854
法人税、住民税及び事業税	634,831	599,190
法人税等調整額	56,051	98,060
法人税等合計	690,883	697,250
当期純利益	2,136,863	1,934,603
非支配株主に帰属する当期純利益	175,272	249,086
親会社株主に帰属する当期純利益	1,961,590	1,685,517

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
当期純利益	2,136,863	1,934,603
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,098	△64,264
繰延ヘッジ損益	1,052	△229
為替換算調整勘定	7,720	△209
退職給付に係る調整額	161,821	△53,781
その他の包括利益合計	186,692	△118,484
包括利益	2,323,555	1,816,118
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,139,047	1,548,906
非支配株主に係る包括利益	184,508	267,212

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,000,000	1,566,178	20,999,994	△105,272	24,460,900
当期変動額					
剰余金の配当			△485,141		△485,141
親会社株主に帰属する当期純利益			1,961,590		1,961,590
自己株式の取得					
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		10,086			10,086
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	10,086	1,476,449	—	1,486,535
当期末残高	2,000,000	1,576,265	22,476,443	△105,272	25,947,436

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	309,511	△1,000	70,156	△727,077	△348,410	—	24,112,490
当期変動額							
剰余金の配当							△485,141
親会社株主に帰属する当期純利益							1,961,590
自己株式の取得							
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動							10,086
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	16,098	1,052	△1,515	161,821	177,456	1,359,916	1,537,372
当期変動額合計	16,098	1,052	△1,515	161,821	177,456	1,359,916	3,023,908
当期末残高	325,609	51	68,640	△565,255	△170,953	1,359,916	27,136,398

当連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,000,000	1,576,265	22,476,443	△105,272	25,947,436
当期変動額					
剰余金の配当			△485,141		△485,141
親会社株主に帰属する当期純利益			1,685,517		1,685,517
自己株式の取得				△25	△25
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計			1,200,375	△25	1,200,350
当期末残高	2,000,000	1,576,265	23,676,819	△105,298	27,147,786

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	325,609	51	68,640	△565,255	△170,953	1,359,916	27,136,398
当期変動額							
剰余金の配当						△15,502	△500,643
親会社株主に帰属する当期純利益							1,685,517
自己株式の取得							△25
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動							
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△64,264	△229	△18,335	△53,781	△136,611	267,212	130,601
当期変動額合計	△64,264	△229	△18,335	△53,781	△136,611	251,710	1,315,449
当期末残高	261,345	△178	50,305	△619,036	△307,565	1,611,626	28,451,848

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,827,746	2,631,854
減価償却費	1,072,419	1,188,443
負ののれん発生益	△85,367	—
段階取得に係る差損益 (△は益)	59,043	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	8,252	3,574
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△203,633	△209,715
賞与引当金の増減額 (△は減少)	112,494	△12,161
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△8,125	—
未払役員賞与の増減額 (△は減少)	△8,400	16,900
受取利息及び受取配当金	△38,887	△52,577
支払利息	13,687	12,230
為替差損益 (△は益)	34,523	24,296
固定資産売却損益 (△は益)	△141	382
固定資産除却損	35,477	17,257
減損損失	—	10,326
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,005	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	7,866
売上債権の増減額 (△は増加)	△91,976	1,442,602
たな卸資産の増減額 (△は増加)	96,446	21,257
未収入金の増減額 (△は増加)	10,136	△38,304
仕入債務の増減額 (△は減少)	△89,981	△223,537
その他	87,666	△261,315
小計	3,830,377	4,579,379
利息及び配当金の受取額	38,887	52,210
利息の支払額	△13,680	△12,216
法人税等の支払額	△577,246	△598,708
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,278,337	4,020,665
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△6,032	△6,182
投資有価証券の売却による収入	2,055	—
有形固定資産の取得による支出	△1,486,974	△2,683,135
有形固定資産の売却による収入	347	345
無形固定資産の取得による支出	△27,558	△14,365
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	248,698	—
定期預金の預入による支出	—	△257,507
定期預金の払戻による収入	—	259,311
会員権の売却による収入	—	6,064
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	△758,893	608,915
差入保証金の差入による支出	△255,817	△1,413
その他	△27,026	△22,662
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,311,200	△2,110,630

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△72,247	△74,123
配当金の支払額	△500,000	△500,723
自己株式の取得による支出	—	△25
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△130,713	—
その他	△8,125	△5,821
財務活動によるキャッシュ・フロー	△711,087	△580,693
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13,787	△7,155
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	242,263	1,322,186
現金及び現金同等物の期首残高	1,421,385	1,663,648
現金及び現金同等物の期末残高	1,663,648	2,985,835

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大に伴う国内外の景気の急激な悪化により、当社グループは売上高の減少などの影響を受けております。このような状況下にはありますが、来期の第2四半期以降には景気に持ち直しがみられるものと仮定しており、当該仮定を固定資産の減損会計の適用及び繰延税金資産の回収可能性の判断などの会計上の見積りに反映しております。

この結果、新型コロナウイルス感染症の影響による会計上の見積りへの重要な影響はないと判断しております。

なお、当該見積りは現時点の最善の見積りであるものの、見積りに用いた仮定の不確実性は高く、上記の仮定に状況変化が生じた場合には当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社のグループ各社は、事業内容別に国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、当社グループは、事業内容を基礎とした、「製紙用薬品事業」、「樹脂事業」及び「化成品事業」の3つを報告セグメントとしております。「製紙用薬品事業」はサイズ剤、紙力増強剤、その他製紙用薬品の製造・販売を行っております。「樹脂事業」は印刷インキ用樹脂、記録材料用樹脂、粘着剤等の製造・販売を行っております。「化成品事業」は機能性モノマー等の製造・販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益のベースの数値であります。セグメント間の内部売上高及び振替高は製造原価に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自2019年1月1日 至2019年12月31日）

(単位：千円)

	製紙用 薬品事業	樹脂事業	化成品事業	計	調整額 (注) 1 (注) 3	連結財務 諸表計上額
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	17,011,857	7,055,487	3,902,705	27,970,050	—	27,970,050
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	98,697	619,573	19,810	738,081	△738,081	—
計	17,110,554	7,675,061	3,922,516	28,708,132	△738,081	27,970,050
セグメント利益 (注) 2	1,801,690	804,530	543,685	3,149,906	△359,723	2,790,182
セグメント資産	16,667,853	11,723,617	4,822,794	33,214,265	3,011,192	36,225,458
その他の項目						
減価償却費	491,420	303,115	248,686	1,043,222	29,196	1,072,419
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額	854,128	464,655	297,170	1,615,953	5,862	1,621,816

(注) 1. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△738,081千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の調整額△359,723千円は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。

3. セグメント資産の調整額3,011,192千円には、各報告セグメントに配分していない全社資産が含まれております。その主なものは短期貸付金であります。

当連結会計年度 (自2020年1月1日 至2020年12月31日)

(単位: 千円)

	製紙用 薬品事業	樹脂事業	化成品事業	計	調整額 (注) 1 (注) 3	連結財務 諸表計上額
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	15,001,986	6,844,545	4,199,563	26,046,096	—	26,046,096
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	62,892	479,721	23,988	566,601	△566,601	—
計	15,064,879	7,324,267	4,223,551	26,612,697	△566,601	26,046,096
セグメント利益 (注) 2	1,453,557	800,639	716,410	2,970,608	△358,156	2,612,452
セグメント資産	17,834,835	11,815,975	5,488,456	35,139,267	1,930,366	37,069,633
その他の項目						
減価償却費	575,209	321,158	265,758	1,162,126	26,316	1,188,443
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額	1,972,268	421,078	266,193	2,659,539	1,143	2,660,682

(注) 1. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△566,601千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の調整額△358,156千円は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。

3. セグメント資産の調整額1,930,366千円には、各報告セグメントに配分していない全社資産が含まれております。その主なものは短期貸付金であります。

b. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前連結会計年度 (自2019年1月1日 至2019年12月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度 (自2020年1月1日 至2020年12月31日)

(単位: 千円)

	製紙用薬品事業	樹脂事業	化成品事業	調整額	合計
減損損失	10,326	—	—	—	10,326

c. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

前連結会計年度 (自2019年1月1日 至2019年12月31日)

(重要な負ののれん発生益)

「樹脂事業」セグメントにおいて、第1四半期連結会計期間に持分法適用会社の新綜工業股份有限公司の株式を追加取得し連結子会社としたことにより、負ののれん発生益85,367千円を計上しております。また、株式の追加取得時において段階取得に係る差損59,043千円を合わせて計上しております。

当連結会計年度 (自2020年1月1日 至2020年12月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
1株当たり純資産額	850.11円	885.19円
1株当たり当期純利益金額	64.69円	55.59円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (千円)	1,961,590	1,685,517
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純 利益金額(千円)	1,961,590	1,685,517
期中平均株式数(千株)	30,321	30,321

(重要な後発事象)

該当事項はありません。